

エルテスの歴史		社会の変化
2004年	創業	mixiがサービス開始
2007年	デジタルリスク事業を開始	ブログや掲示板が流行
2010年	デジタルリスク関連データの収集開始	Twitter（現X）・Facebookが日本でサービス開始
2011年	Webリスクモニタリングサービスを提供開始	LINEがサービス開始
2014年	大手機関投資家、事業会社等から約7億円の資金調達	第一次バイトテロブーム ネット炎上が注目され始める
2016年	内部脅威検知サービスを提供開始 東証マザーズへ新規上場	マイナンバー制度が開始 大規模な個人情報流出事件が相次ぐ
2017年	サイバネティカと提携 エルテスセキュリティインテリジェンス(ESI)の設立 霞が関に本社移転	CM炎上が相次ぐ
2018年	情報銀行向けソリューションを提供開始	大規模な仮想通貨流出事件が発生
2019年	エフエーアイの全株式を取得	第二次バイトテロブーム
2020年	JAPANDXを設立 ESIがアサヒ安全業務社の全株式を取得 岩手県紫波町と「地域のデジタル化推進に関する包括連携協定」締結	デジタルファースト法が成立 新型コロナウイルス感染拡大による生活様式の変化
2021年	岩手県紫波町に本店移転 エルテスセキュリティインテリジェンスからAIKへ社名変更 アサヒ安全業務社からAnd Securityへ社名変更	デジタル庁発足
2022年	AIKがISA、SSSの全株式を取得 GloLingの全株式を取得 アクターの全株式を取得 ラックと資本業務提携 JAPANDXがメタウンの全株式を取得	イーロン・マスク氏がTwitter（現X）を買収
2023年	JAPANDXがプレイネクストラボの全株式を取得	ChatGPTの広がり
2024年	JAPANDXがIDXソリューションズの全株式を取得	IT人材不足が深刻な社会問題
2025年	AIKがエフエーアイを吸収合併 東和警備設立	AIエージェントが注目される
2026年	プレイネクストラボがSRIA Labの全株式を取得	